

草の根協力支援型  
2018年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 事業名	ハイズオン市の住民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり
3. 事業の背景と必要性	<p>ベトナムの疾病構造は感染症などの急性疾患からがんや循環器病などの生活習慣病をはじめとした慢性疾患へと大きく変化してきている。ハイズオン市でも高齢でかつ慢性・複数疾患を抱える複合ケースが退院後在宅ケアとなった場合、多方面での支援が必要とされるが保健医療サービスが不十分で家族の負担は大きい。病院から離れた地域の人々はヘルスセンターを利用し、医師の診察後簡単な投薬やリハビリテーションを受けることはできるが、設備も限られ複合ケースには対応できていない状況である。ヘルスセンターでは医師や助産師の診察以外に予防接種や簡単な応急処置やリハビリテーションも可能であるが地域住民への訪問ケアは実施されていない。</p> <p>ハイズオン市で多重課題を抱え在宅で不自由な生活を余儀なくされている人々の支援にも多方面からのアプローチが必要とされており、多職種による地域訪問が有益だと考えられる。本事業では、まず専門職連携教育の実習の一環として訪問実習の方法を導入し、徐々にその効果を示すことで対象地域の人々に貢献したい。</p>
4. プロジェクト目標	専門職連携教育と地域訪問実習により在宅患者とその家族を支える保健医療の専門職が育成される。
5. 対象地域及び管轄する領事館	ハイズオン市 在ベトナム日本国領事館
6. 本事業の対象となる人々	<p>&lt;直接&gt;ハイズオン医療技術大学のコアメンバー5人および教員 25人          &lt;間接&gt;ハイズオン地域のヘルスセンタースタッフ 10人、ハイズオン医療技術大学の学生最大 180人、ハイズオン地域の脳卒中後患者 15人</p>
7. 事業活動	<p>&lt;活動&gt;</p> <p>1.ハイズオン医療技術大学における連携教育普及計画を策定後、ハイズオン医療技術大学のコアメンバーを含む関係者が新潟医療福祉大学の「連携総合ゼミ」を視察し、ベトナム語で連携教育用教材を作成し連携教育セミナーを年一回実施する。</p> <p>2.ハイズオン医療技術大学のコアメンバーが日本の地域連携訪問サービスを視察後、学内に地域連携室を設置する。ヘルスセンター職員を対象に地域連携訪問に関するセミナーを実施し、コアメンバーおよびヘルスセンターの職員が連携教育セミナーに参加した学生の訪問実習指導を行う。</p> <p>3. 学生実習の対象世帯に対しヘルスセンターがフォローアップの訪問を実施する。コアメンバーが中心となりハイズオン市と新潟県の地域住民に対する本取組の広報活動を行い、さらにベトナム保健省への報告と活動継続・拡大計画の提案を行う。</p>
8. 実施期間	2020年8月～2023年8月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	10,678千円
10. 事業の実施体制	新潟医療福祉大学においては国際交流課教職員と新潟連携教育研究センター教員が、ハイズオン医療技術大学においてはコアメンバーとなる5名の教員が中心となり事業実施にあたる。事務連絡窓口は国際交流課職員が担当する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	学校法人新潟総合学園 新潟医療福祉大学
2. 活動内容	大学・大学院教育（医療福祉・経営分野）、海外大学等との共同研究他